

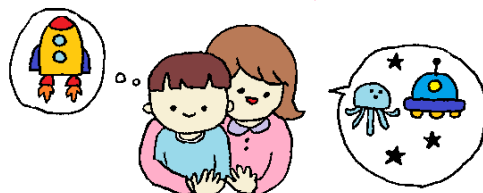


はぐ便り

2019年
5月号
【第64号】

10連休でしたね！連休中も変わらずお仕事だった方、家の掃除に奮闘した方、子ども達とのお出かけは楽しかったけれど旅の洗濯物が増えた…など、色々なご家庭があったと思います。皆さんお疲れさまでした☆わたしは、家族で日本海側へ鉱物採取に行ってきた。めずらしい色や形の石がたくさんあって、大人も夢中になりました。片道600キロ以上、車での大移動は、保育園児の次男には退屈だったのか、「今度はおばあちゃんとお母さんとお兄ちゃんと新幹線で行く…」とこぼしていました。旅行を計画した＆運転を頑張ったお父さんには内緒です…笑

困ったとき💧に「おてて絵本」👐👐



もうだいぶ前のことになりますが、新幹線の中で騒ぐ子ども達を制止できず、乗客の方が降りる際、キツイことを言われ、落ち込んだ経験があります。その時、精神的にもあまり万全とは言えず、周りの乗客の皆さんにも不快な気持ちにさせてしまったと反省しています。どうすればあの時、子ども達を大人くさせることができたのだろうか…とたまに考えることがあります。

みなさんは、お子さんが公共の場でぐずった時、どう工夫していますか？わが家では最近、次男に「おてて絵本」を読んであげています。「おてて絵本普及協会」ホームページによると…

「おてて絵本」は、両手を本に見立てた親子遊びです。子どもの手のひらを絵本として開かせ、そこに広がる物語を子どもに読んでもらい、親子で一緒に楽しめます。おはなしを引き出すには聞き手（親）側が、「何が見えるの？」「何してるの？」「それでどうなったの？」などと合の手を入れてやると、読み手（子ども）は楽しそうに、その子自身の言葉でどんどんお話してくれます。そこには、「こんなことが好きなんだ」「こんなことを考えているんだ」という発見もあり、親があらためて子どもを知るためのいいきっかけにもなります。

とあります。

おてて絵本は、本来は子ども自身に読んでもらうようですが、わたしは子どものおててを広げて、わたしの即興ストーリーを読んでいます😊短くてもとてもおもしろいようで、毎回大受け!!持ち物要らずで親子で楽しめる遊びや工夫を知っておくと、ヒンチの時には役立ちそうですね



毎月

第3日曜日は

「いわて家庭の日」🏠

家庭の大切さをよびかけ、家族のふれあいを深めるきっかけとなるよう、岩手県ではこの日を定めています。今月は5月19日(日)でした。子ども達のことを日々最優先しているお母さんやお父さんは、「自分を大切にする日」「自分に感謝する日」を設けることをおすすめします♡自分を大切にすると、自然に家族を大切にできる余裕が生まれますよ!!



「ほら履けた♡
高確率で左右逆♡」



ご感想・お問い合わせはこちら↓↓↓

盛岡市家庭教育通信『はぐ便り』 2019年5月号【通号64号】 令和元年5月27日発行

発行者・問合せ 盛岡市教育委員会 生涯学習課 住所：盛岡市津志田14-37-2

TEL:019-639-1516 FAX:019-639-1516 E-mail:edu.sgs@city.morioka.iwate.jp